

# 高野長英記念館の風景

### 初雪

奥羽の山並み 焼石連峰に雪が付き 本格的な冬が到来しました 内陸も先ごろ 初雪が観測されました 暦の上でも「小雪」 雪の降り始めとなります  
サザンカの花を見るたび 童謡にある「たき火」を連想します ほとんど見かけることがなくなった「たき火」 寒さの中にも 心と体が暖かく感じます



黄色く色づいたイチョウ



返り花のツツジ



鮮やかな赤色のモミジ



ひっそりとたたずむサザンカ

### 高野長英の手紙

森氏への手紙（1842年・天保13年11月16日）

長英入牢4年目39歳の手紙。長英をよく思っていない鳥居耀蔵が南町奉行となり、長英は出獄に不安を覚え、赦免運動をしようと決心します。将軍日光参拝時に大赦を期待し、紀州藩邸内の森氏に費用を出すので、将軍家法要の都度廻赦帖の筆頭に長英の名前を書いて出すように依頼しています。